

本町田地区新たな学校づくり
基本計画検討会
報告書（案）
（2022年11月18日時点）

2023年〇月
本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会

はじめに

2023年〇月

本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会
会長 若月 雅裕

「本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会」 報告書

(目次)

- 1 本町田地区の新たな学校の概要について
- 2 基本計画検討会における検討内容
 - (1) 新たな学校への歴史の継承について
 - (2) 新たな学校の育てたい子ども像について
 - (3) 新たな学校の校歌・校章について
 - (4) 新たな学校の通学路の安全対策について
 - (5) 本町田地区 新たな学校名（案）について
 - (6) 新たな学校の通学負担の軽減について
 - (7) 子どもたちへの配慮（児童の事前交流など）について
 - (8) 新たな学校の施設整備内容について
 - (9) 新たな学校の保護者組織について
 - (10) 新たな学校の地域協働活動（学校運営協議会・ボランティアコーディネーター）について

(資料)

- 1 町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領
- 2 本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会委員名簿
- 3 本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会 開催経過
- 4 町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（本町田地区）（概要）
- 5 新たな学校名（案）に関する意見募集結果（概要）
- 6 本町田地区 路線バス状況調査の結果
- 7 統合対象校の物品・イベントのまとめ

1 新たな学校づくりの概要について

本町田地区の新たな学校づくりを検討するにあたり、町田市教育委員会における新たな学校づくりのイメージを共有しながら検討を行う必要があったため、以下の内容を踏まえながら、基本計画検討会で意見交換を実施しました。

(1) 本町田地区統合対象校の概要及び統合後の想定児童数・学級数について

■ 町田第三小学校（築56年）



① 児童数・学級数

通常学級	2022	2030	2040
児童数	435	352	304
学級数	14	13	12

② 学校の主な変遷

1952年：町田第三小学校開校
（陶化学校-町田小学校本町田分校-町田小学校から独立）

■ 本町田東小学校（築51年）



① 児童数・学級数

通常学級	2022	2030	2040
児童数	214	180	171
学級数	9	6	6

② 学校の主な変遷

1970年：本町田東小学校開校
（町田第三小学校の一部児童転入）

■ 本町田小学校（築44年）



① 児童数・学級数

通常学級	2022	2030	2040
児童数	379	226	171
学級数	12	11	6

特別支援学級(2022)	知的	情緒
児童数	25	31
学級数	4	4

② 学校の主な変遷

2002年：本町田小学校開校
（「本町田西小学校」「緑ヶ丘小学校」「原小学校」が統合）

■ 本町田地区統合新設校 想定児童数・学級数

※特別支援学級(知的・情緒)配置を想定

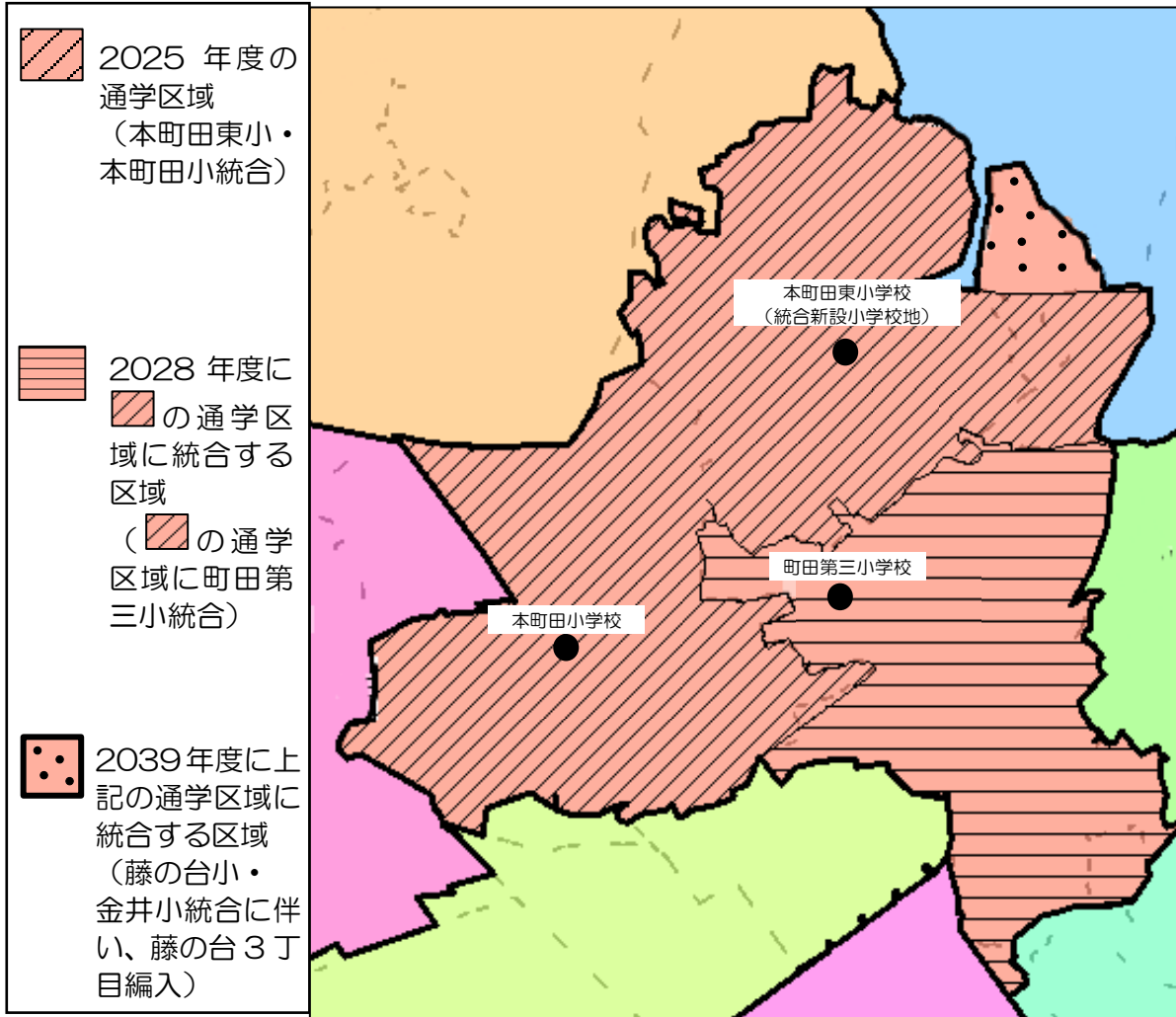
通常学級	2028	2030	2040
児童数	750	694	578
学級数	24	23	18

(2) 統合スケジュール

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
本町田東小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用	
本町田小	既存校舎		既存校舎				
		仮設校舎建設	仮設校舎				
町三小	既存校舎						

統合スケジュールの注釈：
 - 本町田東小：2025年以降、新校舎建設期間中は既存校舎を使用し、2028年に新校舎を使用する。
 - 本町田小：2024年に仮設校舎を建設し、2025年から2027年まで仮設校舎を使用する。2028年に既存校舎を取り壊す。
 - 町三小：2023年から2027年まで既存校舎を使用する。2028年に既存校舎を取り壊す。

(3) 新たな通学区域図 (本町田・藤の台 1~3 丁目)



(4) 学校候補地となる現本町田東小学校の校地状況について



- 住所：東京都町田市本町田 3350
- 地域地区：第一種中高層住居専用地域、準防火地域
- 敷地面積：約 17,000 m²
- 容積率/建ぺい率：100%/50%

【候補地の特徴】

- 4面を高低差のある道路と擁壁で囲われている
- 擁壁と法面との位置関係に応じた門や校舎配置の検討が必要



正門



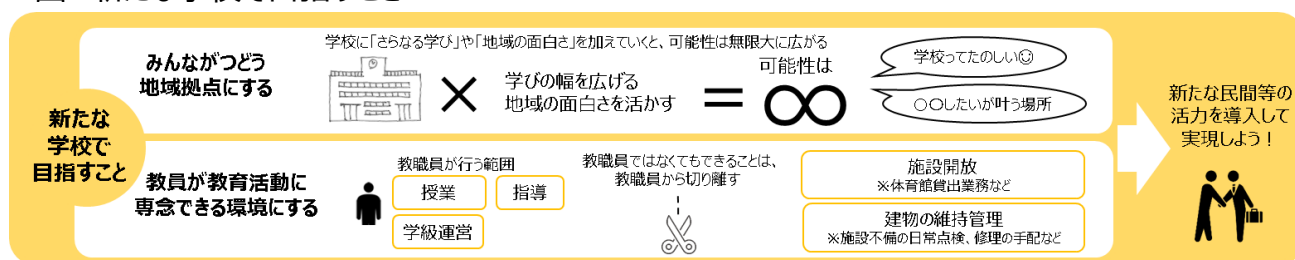
西側なかよし散歩道から

(5) 新たな学校の運用体制（地域施設としての新たな学校）について

町田市教育委員会では、新たな学校を地域の活動拠点とするにあたり、子どもたちが新たな学校でできる活動を増やすこと、子どもたちが使っていない時間に地域の方が一部の教室などを利用して活動できるようにすること、また、教員ではなくてもできることは教員以外が行うことで、多忙化する教員の負担を軽減することを実現するため、民間のノウハウを活用した仕組みづくりの検討を進めています。

検討会では、新たな学校の地域への開放や教員の負担軽減に関する情報を共有しました。

<図>新たな学校で目指すこと



(6) その他の新たな学校づくりに関連した情報の確認について

① 学校跡地について

学校は、教育活動（授業・部活動）の場としてだけでなく、災害時の避難施設など、地域住民にとって、地域の状況に応じた地域の活動の場としても身近な場所となっていますので、2028年度以降の町田第三小学校及び本町田小学校の跡地の活用について、以下のとおり情報共有がありました。

ア 学校跡地の基本的な考え方

学校は避難施設や地域の活動の場など、地域住民にとって身近な場所として、多くの機能を担っています。

学校跡地の活用に関する検討は、以下の基本的な考え方に基づいて、検討を進めます。

- 地域にとって必要な機能は、その地域における統合新設校や周辺施設等へ引き継いでいきます。
- 校舎などの建物は原則として取り壊します。
- 「市有財産の戦略的活用に関する基本方針」に基づき、民間事業者等への貸付・売却なども含めた、効果的な利活用を図ります。

イ 学校跡地に関する今後の進め方

2028 年度以降、市内の小・中学校の一部が順次閉校となりますが、閉校の時期に近い学校もあれば、10 年以上先の学校もあります。

その時期の社会や地域の状況をふまえた学校跡地の活用を行うために、それぞれの地区において、新しい学校をつくるための基本計画の検討着手に合わせて、跡地の活用検討もスタートします。

概ね以下のイメージで、跡地の活用を進めます。地域のみなさまがどのようなご意見をお持ちなのかをお聞かせいただきながら、跡地活用の方向性を検討していきます。

跡地活用検討スケジュール例（本町田地区の場合）

跡地 6 年前 (2022年度)	跡地 5 年前 (2023年度)	跡地 4 年前 (2024年度)	跡地 3 年前 (2025年度)	跡地 2 年前 (2026年度)	跡地 1 年前 (2027年度)	(2028年度以降)
【跡地活用の方向性検討】 市民アンケート、地域との意見交換など			【活用の大まかな 方向性決定】	【校舎解体・跡地活用の詳細 検討（・決定）】		校舎解体・跡地活用

町田第二地区の動き（予定） ※（）内は検討着手年度

- ・町田第三小、本町田東小、本町田小 : 2028 年 本町田東小に統合（2021 年）
- ・町田第三中、山崎中 : 2031 年 木曽山崎公園に統合（2025 年）

② 学校が担う避難施設機能について

学校は避難施設に指定されていることから、学校統合に伴う地域の避難施設の考え方について以下のとおり情報共有がありました。

ア 近隣の避難施設に分散

防災課と自治会等で想定避難先を決め、既にその想定避難先への避難を決めている自治会等との間で調整の場を設けます。

イ 避難場所の拡充の検討

避難施設になっている学校の空き教室の開放、現在避難施設に指定されていない施設（民間施設も含む）の活用、避難広場にテントを張れるようにするなどの拡充を検討します。

ウ 学校跡地における避難施設機能

学校跡地の活用は、避難施設機能を引き継ぐことも含めて検討していきます。

②学童保育クラブについて

学校統合に伴う学童保育クラブの考え方について、以下のとおり情報共有がありました。

ア 一小学校区に一つの学童保育クラブ

現在、町田市では一つの小学校区に一つの学童保育クラブを整備しています。学校統合後もこの考え方を継続することとし、児童の安全確保や学校、地域との連携を図るため、学校が統合される場合、学童保育クラブも統合します。

イ 低学年児童（1～3年生）と障がい児の全入制度

現在、市が定めた期間に申請した入会要件を満たす低学年児童と障がい児は全員入会することができ、学校統合後もこの制度を継続していきます。高学年児童についてもニーズ等を踏まえて育成スペースを整備していきますが、施設定数以上の申請があった場合には現在と同様に選考を行い、保育の優先度の高い方から順次入会することとします。

ウ 今後のスケジュールについて

学童保育クラブの施設整備方法・管理運営方法・登降所に関する課題については、以下のスケジュールで、教育委員会と連携しながら検討していく予定です。

2022年度							2023年度
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	ニーズ調査						基本実施設計開始
	最適な管理運営方法の検討						
	最適な施設整備方法の検討						
	児童の安全、安心な登降所の検討						

④特別支援学級について

今後の小学校特別支援学級配置の考え方について、以下のとおり情報共有がありました。

ア 現在、特別支援学級を設置している学校

統合時に移転先の学校に移行します。

イ 新たな学校づくりにおける特別支援学級の設置の考え方

Ⅰ 「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」

⇒全小学校への設置を目指して、建替え時に設置する

Ⅱ 「肢体不自由特別支援学級」

⇒新たな学級整備は行わない

以上の考え方に基づき、本町田地区の新たな学校では、「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の設置を予定しています。

2 基本計画検討会における検討内容

- (1) 新たな学校への歴史の継承について
- (2) 新たな学校の育てたい子ども像について
- (3) 新たな学校の校歌・校章について
- (4) 新たな学校の通学路の安全対策について
- (5) 本町田地区 新たな学校名（案）について
- (6) 新たな学校の通学負担の軽減について
- (7) 子どもたちへの配慮（児童の事前交流など）について
- (8) 新たな学校の施設整備内容について
- (9) 新たな学校の保護者組織について
- (10) 新たな学校の地域協働（学校運営協議会・ボランティアコーディネーター）について

1 新たな学校への歴史の継承について

本町田地区の新たな学校においても、引続き、各校の教育活動などに関わっていただいている方々や地域の方々に愛着をもっていただけるよう、各校の歴史や想いの継承について、検討会で意見交換したので報告します。

(1) 検討会における物品・活動等の検討項目及び方針

□町田第三小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	1982年度卒業制作（校歌）	デジタル保存 卒業生へ返却を検討
	第38回卒業生卒業制作（校歌）	
	第39回卒業生卒業制作（レリーフ）	
	1997年度卒業制作（鏡）	
	1998年度卒業制作	
	1999年度卒業制作	
2002年度卒業制作		
2 記念碑	百周年記念碑	デジタル保存 跡地に設置を検討要望
3 記念樹	もみじの木	デジタル保存
	梅の木（3本）	跡地に設置を検討要望
4 展示物	25回卒業生寄贈石碑	デジタル保存 寄贈者へ返却を検討 引き取り手を探すことも検討
	絵画	
	土器・唐箕	
	町田市子ども憲章	
	揮毫	
	学校の歴代航空写真	
	版画×6枚	
	石柱×2本	
	トロフィー、賞状等	
	日時計	
	版画×2枚	
レリーフ		
レリーフ×2枚		
5 教育活動・ 学校行事	農園活動	学校同士で検討
	稲作活動	
	縦割り活動	
	地域に密着した活動	
	読み聞かせ活動	
6 地域活動 ・地域行事	いなほ会	地域団体の円滑な合流・連携
	盆踊り大会	
	名人芸大会	
7 その他	給食	学校同士で検討
	校風	

□本町田東小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	1976年度卒業制作（校歌）	デジタル保存 卒業生へ返却を検討
	1979年度卒業制作（レリーフ）	
	1981年度卒業制作（レリーフ）	
	2020年度卒業制作（ペイント）	
2 展示物	図書コーナー	教育活動で利用できるものは継承、 他はデジタル保存 引き取り手を探すことも検討
	模型、写真等	
	教室の表札	
	季節行事関連の品（こいのぼりなど）	
	レリーフ 木製 レリーフ 木製 日時計	
3 教育活動・ 学校行事	東祭り	学校同士で検討
	縦割りの活動 地域交流	
4 地域活動 ・地域行事	地域交流	地域団体の円滑な合流・連携
5 その他	給食	学校同士で検討
	校風	

□本町田小学校

分類		継承・保存・引き取り方法
1 卒業制作・ 校名板・ 校旗・ 校章・ 記念冊子	統合前3校の資料 （原小・緑ヶ丘小・本町田西小）	デジタル保存
2 展示物	ふるさと館（郷土資料）	デジタル保存
3 教育活動・ 学校行事	本小まつり	学校同士で検討
	本小体操	
	本小タイム サマースクールの体験学習	
	地域交流	
4 地域活動 ・地域行事	地域交流	地域団体の円滑な合流・連携
5 その他	和太鼓	学校同士で検討
	給食	

(2) 基本計画検討会での意見内容

町田第三小学校グループ

- 卒業制作：卒業生に返却していくことをきっかけに集まることもあるかもしれない。鑑賞の場を設けるのもありかも。
- 寄贈品：寄贈者がわかれば寄贈者に返却していくことでいい。百周年の記念碑は町田第三小学校があったことがわかるように今の場所に置いてあるといい。跡地の中で検討してほしい。
- 植栽：もみじも梅の木も引き続き現在の場所に置いてほしい。跡地の中で検討してほしい。
- 教育活動：学校の先生同士で検討することがいい
- 地域活動：地域の主催団体ごとに検討することがいい。
- その他：新しい学校に持っていくことは難しいと思うので、基本的にデジタル保存で残してほしい。町田第三小学校がここにあったことがわかるように木や石碑を残してほしい。メモリアルルームをつくるのではなく、地域開放の部屋の壁とかにかけとくとかがいいとおもう。

本町田東小学校グループ

- 卒業制作：卒業生に返却していくことをきっかけに集まることもあるかもしれない。鑑賞・感傷の場を設けるのもありかも。
- 寄贈品：図書コーナーの椅子は3分割にとることもできるので、新しい学校の図書室などで使ってもらえるとうれしい。メモリアルルームの内容は、卒業制作などと同様デジタル保存していくことでいいと思うが、教育的に使うかなども含めて、どれを残すかなどは学校で判断で良いと思う。
- 教育活動：学校の先生同士で検討がいい。統合後は人数もクラス数も違うため、その状況でどのように新しい教育活動をしていけるかという視点から考えたほうがいい。
- 地域活動：ほかの学校で行っていたまつりや町内会の運動会の地域行事を全て本町田東小学校の場所で行うのが心配。
- その他：原則として、3校のものをもっていくことは現実的には難しいと思うのでデジタルに保存してほしい。デジタル保存するときには、当時の校舎内での配置位置が思い出せるような工夫をしてもらえるといい。学校の教室などに掲げている表札については新しい学校で使えるなら使ってほしい。3校が統合して新しい学校になったということがわかるように、新しい学校の施設が具体になったときに、学校の中で歴史が見られるような工夫をしてほしい。（例：廊下などに配置、コミュニティルームなどに配置）

本町田小学校グループ

- 卒業制作：校歌板は卒業制作なのでデジタル保存してほしい
- その他：和太鼓は新しい学校でも使用できるなら教育活動で使ってもいいと思う。ふるさと館は面積がおおきいことと、教育活動では使っていないので、新しい学校に持っていかずデジタル保存がいい。資料室の内容はデジタル保存でみんなに見てもらえるようにするのがいい。
- 教育活動：学校の先生同士で検討することがいいが、形は変わっても、良い活動は主旨を活かした別の活動でもいいから残してほしい。
- 地域活動：地域の主催団体ごとに検討することでいい。形は変わっても、良い活動は主旨を活かした別の活動でもいいから残してほしい。
- その他：面積を考えると新しい学校にもっていくことは難しい。普段に見ることができる状態ではないものはデジタル保存などでいつでも見られる状態にしてあげたほうがいい。

(3) 歴史の継承に向けて

上記の検討会の意見を踏まえた配慮や工夫をしていただくとともに、新たな学校の児童においても、統合校の歴史を感じられるような工夫を検討していただきたい。さらには、当時の学校のことを地域の方々も思い出せるような工夫をするなどし、地域の学校として愛着をもてるよう配慮をお願いしたい。

2 新たな学校の育てたい子ども像

本町田地区の統合新設校に通う子どもたちについて、どのような子どもに育てて欲しいか、これを実現する教育理念をどのようなものにするか、以下の町田第三小学校・本町田東小学校・本町田小学校の教育目標も確認しながら、育てたい子ども像の検討を行いました。

(1) 本町田地区の小学校の教育目標

①町田第三小学校

心豊かで、自分に自信をもち、相手を尊重しながら自己を表現できる児童の育成を目指す。

○ 元気な子

(心や体を鍛え、健康的で活力のある生活をする子「アクティブに生きる力」)

○ よく考える子

(自らの課題に向き合い、まわりとの関わりを通してよく考え、すすんで課題解決に取り組む子「課題解決力」)

○ 思いやりのある子

(自他ともに認め、お互いを大切にする子「人間関係形成力」)

②本町田東小学校

○ 「よく考え、行動する子」

(主体的に学び、豊かな発想で工夫ができる子供の育成「主体的問題解決力」)

○ 「思いやりのある子」

(命や自然を大切にし、互いに尊重し合える子供の育成「人間関係形成力」)

○ 「元気でたくましい子」

(心身を鍛え、目標に向かい努力する子供の育成「実践行動力」)

③本町田小学校

日本国憲法・教育基本法に基づき、未来社会の創り手として、主体的に学び続ける児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

「心豊かにかがやく本町田小の子ども」

自ら考え、努力する子ども

(主体的に学び続ける勤勉性と問題解決力)

思いやりのある子ども

(豊かな心で他社を尊重する人間関係調整力)

体をきたえる子ども

(自ら体を鍛え、目標に向かって向上しようとする自己実現力)

(2) 検討会における委員の意見

- ・自分の足で歩ける子
- ・共感・協働・思いやりなどをもってほしい
- ・いろいろなことに興味を持って主体的に学んでほしい、それらを体験していく子どもに育ててほしい。
- ・環境の変化に対応できるようになってほしい
- ・「至誠一貫」、常に相手の立場に立って真心を尽くす、相手の立場に立って考えられる優しい心を持った子
- ・自然豊かな環境の中、子どもたちが素直で明るく、元気よく、健やかに、お友達から慕われ、人に優しく、温かな気持ちの持てる子
- ・自分で考えて行動に移せる子
- ・自分で考えて、これが正しい、これは間違っているということを判断できて、それが判断できたときに自分が正しいと思うことができる勇気をもった子
- ・自分の意見も尊重し、相手の意見もちゃんと聞いて、お互い違うところを認めながら意見交換できる子
- ・自分を素直に出せなかったり、自分を少し押し殺してしまうことがないような子
- ・自分の意見を言えている子
- ・グローバル化が進む中で、英語などの外国語が話せる子、国際的な視野を持った子
- ・未来社会に生きるため積極性や創造力、いろんな学力をもち、そこに柔軟な心を持った子
- ・NOと言える、嫌なことは嫌と言える子
- ・集団での生活の中での協調やお互いを尊重し合える子
- ・思いやり、この気持ちを育てていただきたい
- ・物事に楽しんで取り組む子（未来への希望を持てる子）
- ・いろんな人・考え・行動を認められる子（みんな違ってみんないい）
- ・体力低下も心配なので体力がある子。荷物の重さもあるが歩くことも大切
- ・学校が大好きで毎日を楽しく過ごせる子

(3) 統合新設校の教育目標策定に向けて

検討会では、上記（2）のように、自分で動ける・話せるなどの主体性、相手も自分も尊重する思いやり、環境変化に対応できる子に育ててほしいなどの意見が挙がりました。

また、子どもを育てるにあたっては、「絶対にこうでなくてはならない。」といったように、型にあてはめることを強要するのではなく、その子に合った教育をしてほしい、時代時代にふさわしい教育をしてほしいといった、育てたい子ども像だけではなく、子どもを育てるにあたって大事にしてほしいという観点についても意見が挙がりました。

今後、三校の学校長には、これらの意見や意見募集の内容を踏まえ、本町田地区の統合新設校における教育目標を考えていただきたい。

(2) 校章

①作成時期

- ・事前にデザインを一緒に出し合っつていくことで統合校同士で一体感を出すことができると思う。
- ・最低 2028 年度までに欲しいが、2025 年度の統合時に授業で使えたりできるのでみんなで一体感をもつことができると思う。
- ・統合するタイミングに新しい学校になるのであれば、そのときに使用できる学校の校章があったほうがいいが、町田第三小学校が遅れて合流してくるので、温度感をすり合わせられるといい。

②作成方法

- ・子どもにつくってもらったものを最後専門家にきれいにしてもらうのがいいのではないかな。
- ・近隣の大学と協力して作成する方法もいいと思うし、その後も学校と大学との連携が継続して続けられるようなことができるといい。
- ・地域の方に公募もいいが、キーワード等の想いは受け止めつつも、中立的な立場で専門家に依頼することもいいと思う。

(3) 校歌・校章の作成に向けて

2025 年度や 2028 年度の学校統合時に円滑な合流が実現できるように、校歌・校章を作成したり、一緒に歌ったりできるよう進めてほしい。

また、作成にあたっては、子どもたちや地域の想いを大事にしながら、今後も残っていくものにふさわしい内容を作っていたきたい。

(参考 1) 他自治体等における作成方法事例

作成方法	内容
公募	市の広報や学校だよりなどで公募し、選考会などで選定
児童の案	児童の案を元に先生や専門家が修補、選考会などで選定
地域に縁のある人に依頼	町田市や地域に在住または出身の方に依頼
地域の大学等と連携	地域の大学と協力して作成。
学校の先生による作成	統合する学校同士または統合新設校の音楽や国語、図工の先生などに作成を依頼
専門家に依頼	作詞家や作曲家、デザイナーに依頼

(参考 2) 統合対象校 校章



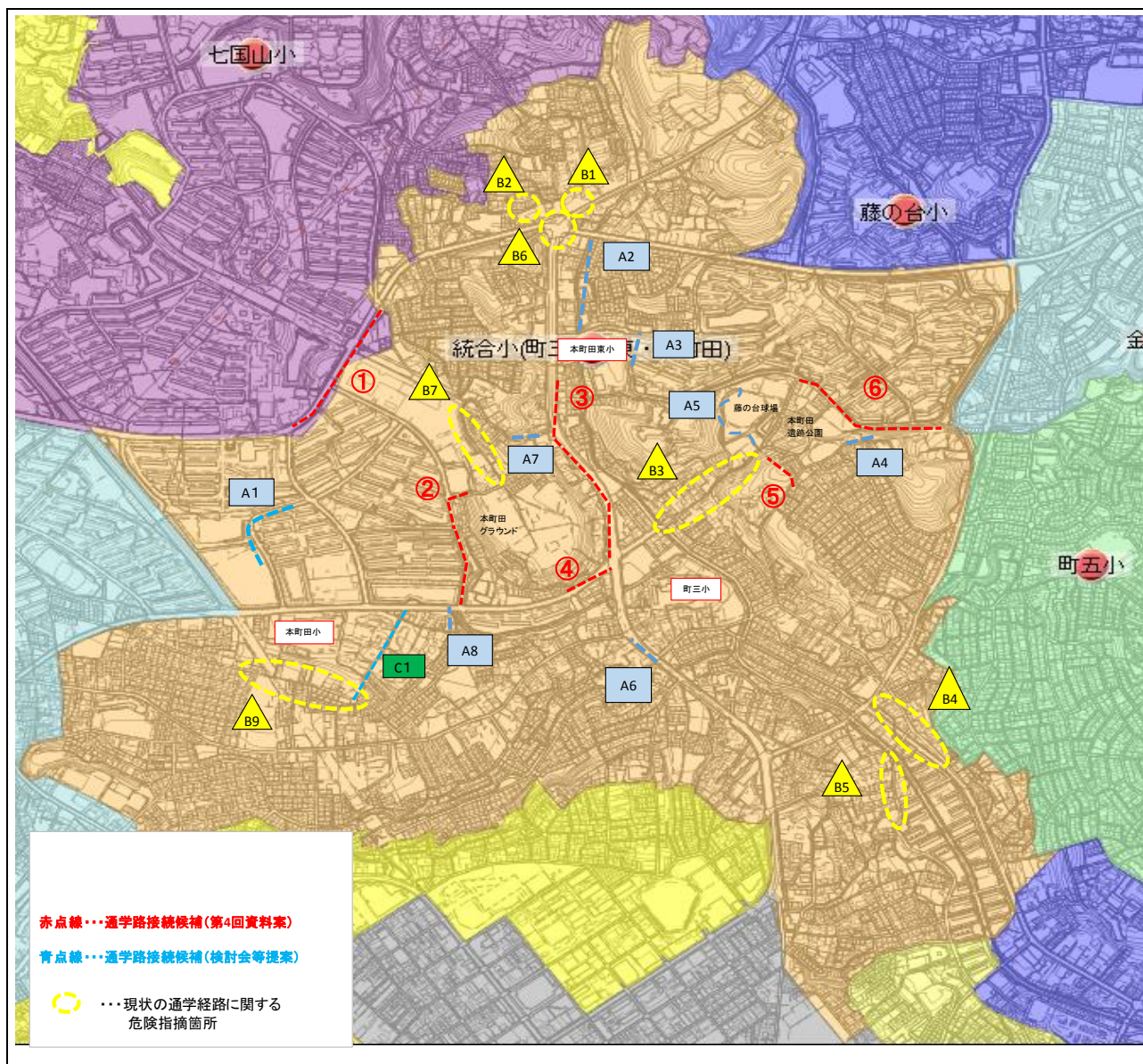
4 新たな学校の通学路の安全対策について

新たな通学区域における通学路候補箇所の安全対策について現地確認及び意見交換を実施しましたので、その結果を報告します。

(1) 通学路の整備などの安全対策

通学路については、以下の通学路候補図に記載している通学区域変更後の通学路候補箇所（現在の通学路との接続箇所）について、6～7 月にかけて、朝の登校時間を中心に現地確認を実施し、当該箇所の安全対策に関して検討を行いました。

①通学路候補図



②通学路候補箇所への要望事項

委員指摘内容	該当する確認箇所	要望の方向性	委員指摘内容	該当する確認箇所	要望の方向性
1 歩道が狭い（歩道を走る自転車が危ない）	①・③	道路管理者にて自転車専用道を作る対策（自転車ナビマーク【図1】等） 自転車のスピード抑止策（「自転車スピード落とせ」【図2】等の注意看板）  	12 坂道で車がスピード出す	⑤・A4・A7	道路管理者にて看板等【図5】でスピード抑止対策。
2 歩道が狭い（車とのすれ違いが危ない）	③・A2・A8	道路管理者にてポストコーン等【図3】で歩道内の安全対策検討依頼。 	13 暗い（通行の安全性）	⑥・A4・A5	道路管理者にて照度の確保（街路灯設置検討）。
3 周辺店舗への車両の出入り	①	店舗に出入り口を明確化する安全対策を依頼（ポストコーン等【図3】）。	14 暗い（不審者）	⑥・A4・A5	安全確保（警察及び見守り隊にてパトロール）。
4 道路の段差	①	補修で対応できるのであれば、道路管理者に補修依頼。	15 交差点に止まれ表示がない	A2	警察に検討依頼。
5 草木が視界を遮る、物陰ができる	③・A4・A5・A7	道路管理者から所有者に剪定指導。 緑の台球場内であれば、指定管理者に剪定依頼。 道路管理者にて照度の確保（街路灯設置検討）。	16 車が双方向から来るのが危険（スクールゾーンにしてほしい）	A2	警察に検討依頼。
6 信号機のない横断歩道	③・A3・A4	道路管理者にて横断歩道を、明確化する対策（「歩行者注意」看板等【図4】の設置）。 	17 ガードレールを設置してほしい	A3	道路管理者に設置依頼。
7 車の視距がない交差点	③	視距が無い原因が、せり出しであれば道路管理者から所有者に剪定指導。	18 横断歩道を設置してほしい	A4	警察に検討依頼。
8 （ひなた山の）水路を歩道にできないか	③	下水道部に検討依頼。	19 スズメバチが危険	A5	巣が道路管理箇所であれば、道路管理者に撤去依頼。
9 歩道が波打っている	④	樹木による根上がり原因なら、道路管理者に補修依頼	20 標識が見えない	A7	道路管理者から所有者に剪定指導。
10 狭いカーブで安全確認が困難	⑤・A7	道路管理者にて看板等（「スピード落とせ」【図5】）で手前からスピード抑止対策。 	21 一時停止を守らない車両	A8	警察にて取り締まり。
11 急坂で安全確認が困難	⑤	道路管理者にて看板等【図5】及び路面滑箱（「速度落とせ」【図6】）で、スピード抑止をし、安全を確保する。 	22 道路面に色を塗ってほしい	A8	道路管理者に検討依頼。
			23 見通しが悪い	C1	道路管理者にてスピード抑止対策（「スピード落とせ」などの注意看板【図5】等設置）。

(2) 通学の安全対策に向けて

通学区域変更後の通学路候補箇所（現在の通学路との接続箇所）について、上記②の要望のとおり、交通管理者等へ安全対策を要望していただきたい。

また、通学路候補箇中の△で表示している既存の通学路についても、引き続き通学路点検を通して、道路管理者や交通管理者等と連携して改善していきよう願いたい。

5 本町田地区 新たな学校名（案）について

本町田地区の新たな学校名意見募集結果や学校名を選定する際の教育委員会の「統合新設校の学校名選定基準について」を踏まえながら検討会において検討し、以下のとおり3案の選定を行いましたので、報告します。

(1) 学校名選定の検討経過について

学校名を選定するにあたっては、学校統合する児童やその保護者、地域住民の皆様にご意見を募集を行い、学校名案の募集を行いました。

特に、学校は地域の拠点ともなる場所であることから、2022年1月26日～2022年2月16日に実施した意見募集の地域の特色の回答内容も提示しながら、統合する地域の特色なども踏まえて考えていただけるように意見募集を行いました。

■ 学校名検討経過

項目	2021年度				2022年度									
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
学校名検討経過		新たな学校づくりに関する意見募集実施（地域の特色に関する意見確認）				学校名意見募集（地域の特色も質問紙に掲載）		学校名意見募集結果を踏まえ、各委員が学校名を考えるうえで大事にしていることを意見交換		検討会での学校名検討（3案）	学校名案を広報/意見確認			

(2) 意見募集結果（回答件数上位10位・児童上位10位の案）

学校名意見募集では、計799件ものご意見をいただき、以下の結果となりました。

■ 回答件数上位10位

No.	読み仮名	合計	うち児童
1	ひなたやま	65	22
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなた	54	20
4	ほんまちだひがしだいさん	47	47
5	ほんまちだひなた	34	14
6	ひなたむら	33	29
7	ほんまちだ しぜん	20	18
8	ほんまちだだいさん	16	14
8	ほんまちだひなたやま	16	8
10	ほんまちだひがし	14	12

■ 回答件数児童上位10位

No.	読み仮名	合計	うち児童
1	ほんまちだひがしだいさん	47	47
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなたむら	33	29
4	ひなたやま	65	22
5	ひなた	54	20
6	ほんまちだ しぜん	20	18
7	ほんまちだひなた	34	14
7	ほんまちだだいさん	16	14
9	ほんまちだひがし	14	12
10	まちだだいさん	12	9

(3) 検討会における新たな学校名（案）の検討について

検討会においては、意見募集の内容なども踏まえながら、以下のとおり3案を選定しました。

① 学校名候補について

検討会委員からいただいた学校名案及びその理由のまとめについて

<p>■ 検討会委員からいただいた学校名案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町田ひなた小学校（5件） ・ひなた小学校（4件） ・ひなたがおか小学校（計4件）※日向ヶ丘（3件）、ひなたヶ丘（1件） ・ひなたの丘小学校（3件） ・本町田東第三小学校（1件） ・本町田三校小学校（1件） ・本町田小学校（1件） ・町田ひなた小学校（1件） ・本町田ひなたヶ丘小学校（ひなたは漢字/平仮名表記問わず）（1件）
<p>■ 上記学校名を考えた理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町田という地名は大事にしたい。 ・学校の場所が学校名からわかるようにしたい。 ・学校の立地・地形も学校名からわかるようにしたい。 ・ひなたという言葉は、イメージが温かく良いと思う。 ・3校が統合するということから、どの学校の名前も大事にしたい。 ・意見募集の子どもたちから多く挙がった意見を大事にしたい。 ・いずれかの学校に吸収されてしまう印象がないように新しい学校名にしたい。 ・「日向ヶ丘」「ひなたの丘」という学校名は、平仮名だとやわらかいイメージで小学生も書きやすく良いと思う一方で、長年使うことを考えると漢字のほうがしっかりとしているとも思う。 ・地名も使用して、わかりやすく、長くないものにした方がいいと思う。 ・教育委員会の選定の考え方にも合致する内容で考えたい。

② 3案の選定結果について

検討会においては、上記①の内容を踏まえ、以下のとおり3案を選定いたしました。

- 検討会案① 本町田ひなた小学校
- 検討会案② ひなた小学校
- 検討会案③ ひなたの丘小学校

(4) 学校名（最終案）の選定に向けて

教育委員会で最終案を選定するにあたっては、教育委員会の考え方だけでなく、本検討会での意見募集結果や各委員から出された「想い」も踏まえながら、本町田地区の新たな小学校にふさわしい学校名を選定していただきたい。

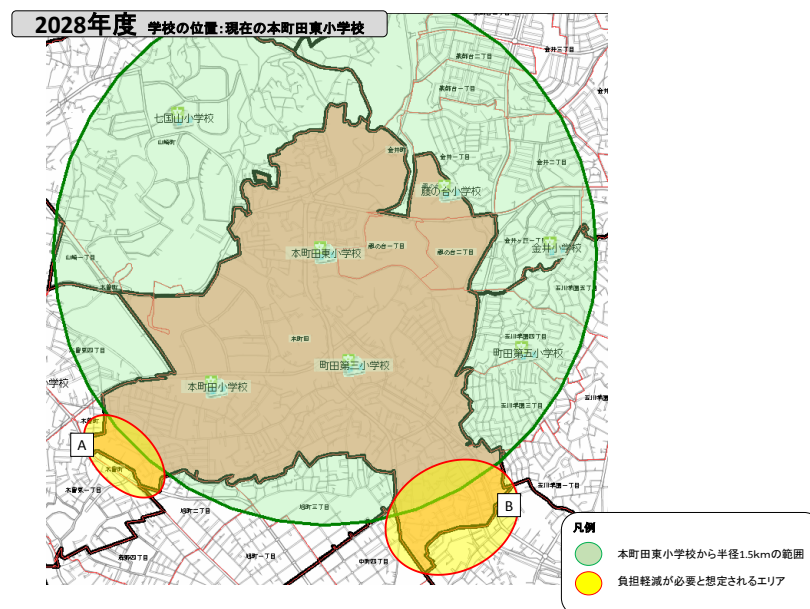
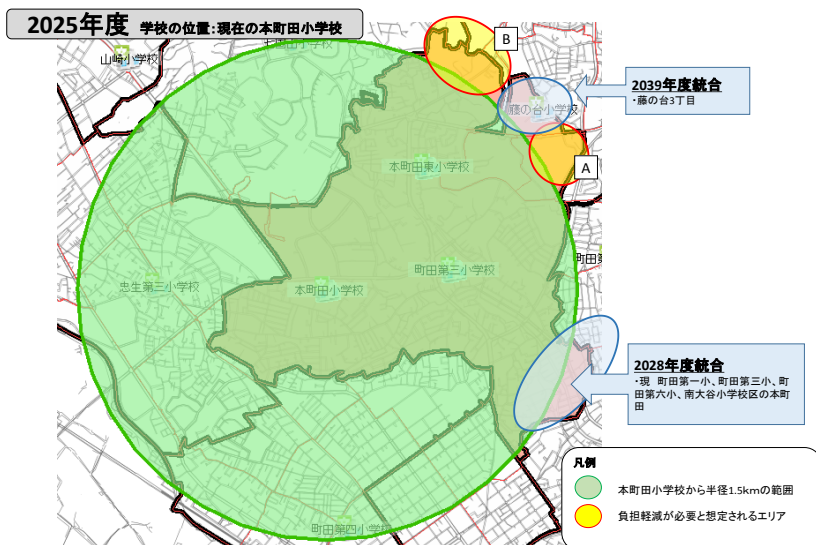
6 新たな学校の通学負担の軽減について

本町田地区の通学区域を統合することによって通学時間が長くなってしまいう児童の通学にかかる負担軽減について、「公共交通機関等を利用した通学方法」を検討しました。

検討の順序としては、まず路線バスによる通学が可能かどうかを検討し、路線バスで通学できない場合、バス（大型・中型・小型）、タクシー、大学や民間企業の送迎車両の活用などの「路線バス以外の通学方法」を検討することとしました。

また、「学区外通学制度の見直し」について、教育委員会が設置する「町田市学校の統合に伴う学区外通学と費用負担等検討委員会」において検討することを確認しました。

(1) 新しい通学区域における公共交通機関等を利用した通学が想定されるエリア



(2) 公共交通機関等を利用した通学の検討について

公共交通機関等を利用した通学方法の議論において、路線バスによる通学が可能かどうかについては、特に保護者代表の委員から多くの意見がありました。

その中で、教育委員会において検討している、路線バスが通学に利用できるかどうかを判断するための評価項目の視点で本町田地区の状況を調査した結果、路線バスを利用した通学が可能であるとの報告を受けたことにより、本町田地区ではスクールバスなど他の通学手段は含めず、徒歩または路線バスでの通学を前提として、路線バスを利用した場合における心配事項や対応策についての検討を行いました。

(3) 路線バスを利用するにあたっての懸念点等

- ・朝に時間どおり乗せられるか心配。特に1本乗り遅れたらというのが心配事の一つ
- ・小学生は荷物が多い（特に月曜日や新学期など）。荷物を分散して持っていけるような対応をしてほしい。
- ・子どもがバスに乗ったか、目的のバス停で降りられたか確認できる何かがあるといい
- ・通学費補助を支給する世帯としない世帯の距離の線引きが難しいと思う
- ・子どもが乗るバスが集中すると思うので、混雑的に本当に乗ることができるか心配
- ・バスが遅延したときが心配
- ・社会で生きていく上でバスに乗らないという人のほうが少ないので、社会勉強としてもそういうことを学んでいってくれたらいいなと思う。
- ・今までいなかった子どもたちが乗ると現在利用している乗客にも影響が出るので、周囲にも理解をもらうために周知をしっかりとしてほしい。
- ・バス停の待つときの歩道が狭いところが心配。（成瀬街道にある山村のバス停など）
- ・バスの乗り降りがスムーズにできるかが心配。誰かついていないといけないのではないか。
- ・自分も経験していないし、子どもも経験していないので、どういったことが想定されるのかというのは分からない。
- ・お行儀よく乗っていただけるか、お話をしたり楽しくなったりする子どもよく見るので、周囲の乗客との関係が心配。
- ・早く着き過ぎちゃったらどうしようという心配がある。
- ・路線バスを利用することなく、徒歩で通学する児童が多いのではないか。

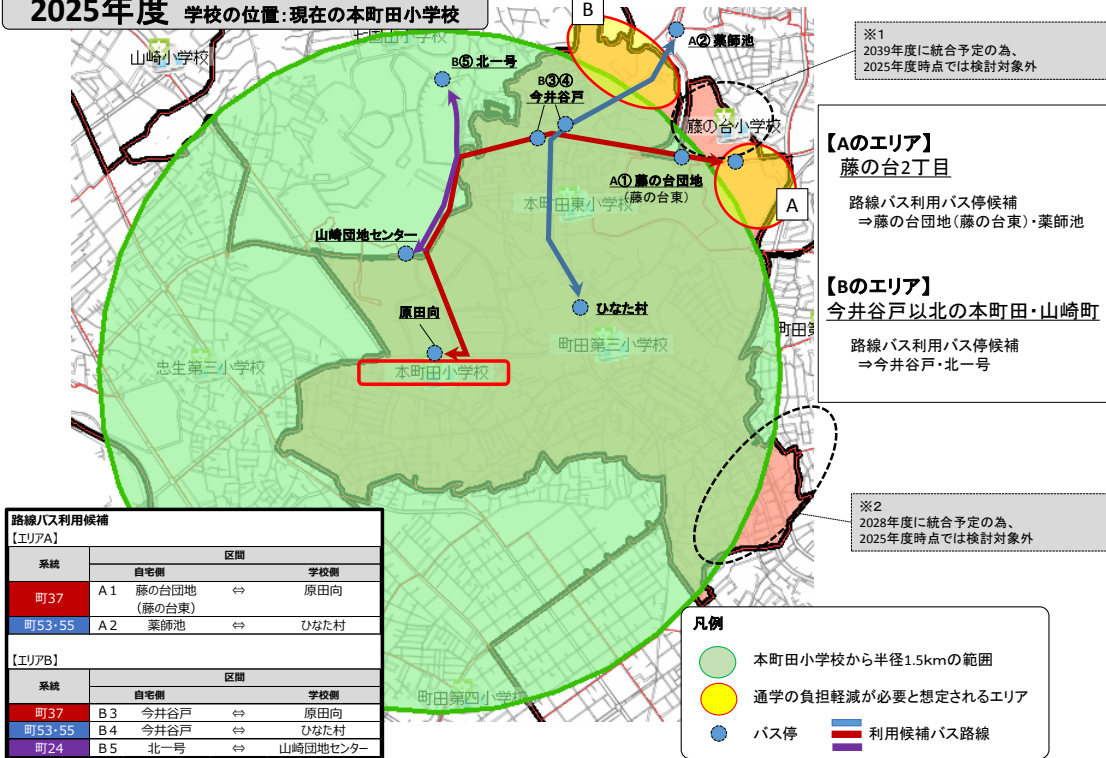
※同時期に開催していた南成瀬・鶴川東・鶴川西・南第一小学校地区検討会の意見を含む

(4) 路線バス通学における安全対策等について

①2025 年度（学校の位置：現在の本町田小学校）

本町田地区の路線バスを利用した通学例

2025年度 学校の位置：現在の本町田小学校



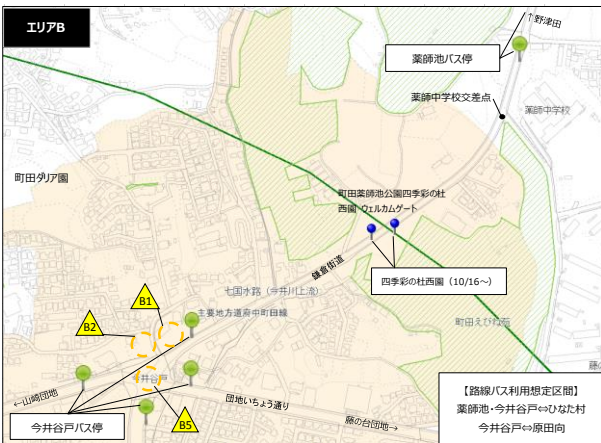
【場面1】バスに乗るまで・バスを降りた後

◇エリアA



意見
・藤の台団地に住んでいる子どもは藤の台団地のバス停で乗ると思う
・団地の中を通過して藤の台団地のバス停に行くのがいいとおもう。ただし団地の自治会への周知や理解を求めていく必要があると思う
・藤の台団地のバス停に行くにあたって、藤の台団地の中を通り抜けることができるかどうか。通り抜けが難しい道が多いと思う。(ただあまり児童はいないかもしれない)
・藤の台小のほうが近いから本町田小学校ではなく藤の台小学校に行く子もいると思う

◇エリアB



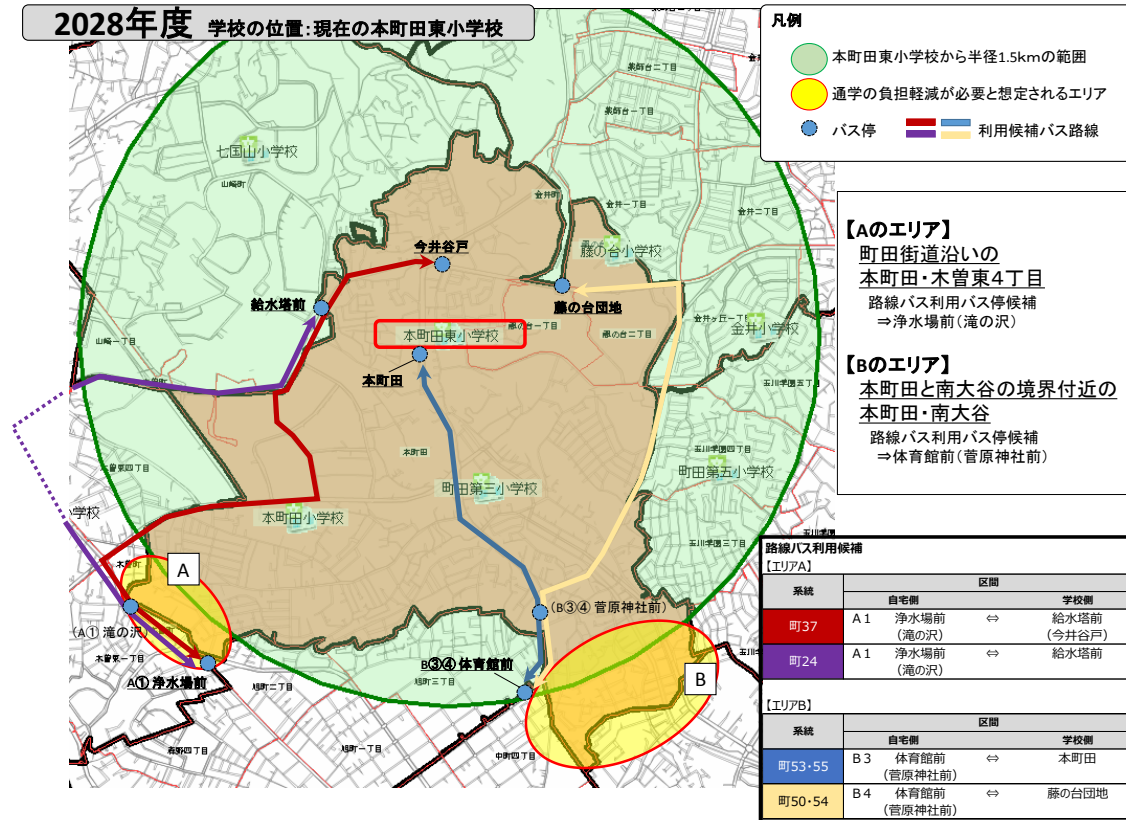
意見
<ul style="list-style-type: none"> 今井谷戸以北に住んでいる子は、今井谷戸から乗ると思うが、歩道橋がないから横断歩道を利用するしかないから注意が必要 原田向に行く今井谷戸のバス停行くまでは歩道橋がないから横断歩道を渡る必要があるが、バスが来そうな場合にはあわててわたる子もいると思うから旗振りの人がきちんと渡してあげたりすることが必要だと思う 今井谷戸のバス停に乗るまでは、現行の通学路を通りながらバス停に行くことができる。 原田向の今井谷戸のバス停の前の待機場所は狭いと思う（行くときにはバス停の目の前の店舗は開いている時間ではないが） 薬師中学校付近に住んでいる人も、原田向で降りることを考えると思うから四季彩の杜西園バス停ではなく、藤の台団地のバス停で乗るのではないか 薬師中学校前の道は歩車分離されているし中学生もいるから十分安全だと思う 藤の台小のほうが近いから本町田小学校ではなく藤の台小学校に行く子もいると思う

◇学校周辺



意見
<ul style="list-style-type: none"> 原田向の前の歩道の幅を広げてほしい 本町田小学校前にはお迎えなどで停車している車が多いから、車待ちできるようなスペースを道路工事などで確保してほしい 本町田小学校に行く3年間だけでも、原田向のバス停の場所を本町田小学校により近い場所に動かしてほしい 原田向のバス停で降りると思うからひなた村のバス停で降りることはないのではないかとと思う 原田向-今井谷戸のバス停は行きも帰りも坂道の途中にある。自転車も多い道なのでスピードがつかないような対応ができないか。スピードを落としてすり抜けるポールの設置など 本町田小学校から帰るときにバス停までは横断歩道を渡るから安全指導が必要だと思う ひなた村のバス停で降りたあとは、鎌倉街道のコメダ珈琲側を歩くことになると思うが、鎌倉街道を渡りにくいと思う。また、2025～2027は町田第三小学校の子ども達と木曽団地東の交差点で交錯することがあると思う。

②2028 年度（学校の位置：現在の本町田東小学校）



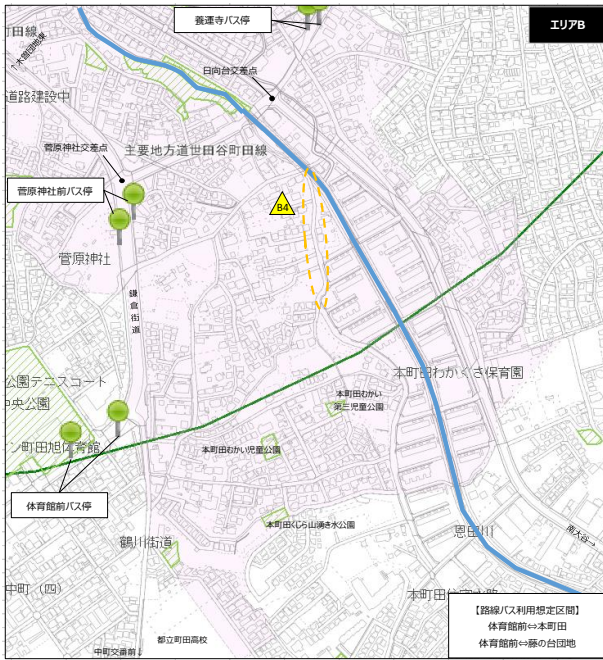
【場面 1】バスに乗るまで・バスを降りた後

◇エリアA



意見
・滝の沢バス停は、待つスペースが狭いので危ない。
・待つスペースで考えれば、浄水場前か木曾中原で乗るのが良いと思う。
・木曾中原に一度寄るのであれば、そのまま歩く子もいると思う。
・通学距離的には忠生第三小に通う子もいると思う。

◇エリアB



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・本町田くじら山湧き水公園あたりに住んでいる子は体育館前のバス停から行くと思う。体育館前に行くときは、友和自動車の前を渡るのではなくて鎌倉街道まで出てから反対側にわたって、鎌倉街道を横断して体育館前に行くのが安全だと思う。友和自動車の前は車もとばしているし信号もないので渡らせるのは危ないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・菅原神社前のバス停は使用しないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・本町田の玉川学園に近いところに住む人は、バスに乗らずに歩いたほうが早いかもしれない、バスに乗るときのルートであれば、しょうたろうの近くの道は一方通行だが車が気になる ・玉川学園に近い本町田に住んでいる人は、養運寺のバス停から乗るよりは歩くと思う。ただ登校はいいが、帰りが心配。
<ul style="list-style-type: none"> ・養運寺のバス停は待つスペースが狭い

◇学校周辺



意見
<ul style="list-style-type: none"> ・今井谷戸を降りた後はなかよし散歩道ではなくて鎌倉街道を歩いてきた方がいいと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・今井谷戸の歩道橋は本町田東小学校の子はしっかり使用している。 ・藤の台団地のバス停から開進幼稚園の前までの道を行くときには開進幼稚園への送迎の車もあるから注意が必要。藤の台団地の中を歩くと行き止まりなどがあって迷うこともあるからあまり中は通らない方がいいのではないかな。 ・藤の台団地から降りた後は団地の中を通ると早いと思う
<ul style="list-style-type: none"> ・日向台交差点から本東小方面に行くときには、一本内側の道は車は少ないが帰りは人通り無くてこわい。 ・鎌倉街道で本東小まで一本道だからそれを歩くということもある。
<ul style="list-style-type: none"> ・南側の門が使えると通学しやすい

【場面 2】路線バス乗降中・乗車中

意見
・バスの中で騒がないよう、学校や家庭での指導が必要
・バスを降りるときに左右を確認しないで降りることがあるから指導が必要
・雨の日はバスを降りた時に傘を開くタイミングで止まっちゃったりして詰まっちゃう
・バスから降りた後に止まらないように、いきなり降りて自転車と接触しないようになどの安全指導が必要
・バスを待つときには道に広がらないなどのマナー指導が必要
・浄水場前から乗るときはバスの系統が多いから間違えやすいと思う
・小さい子供はバスの行先を判別して乗ることができるか
・乗るバス停に見守りの人がたってくれていると安心する
・乗るバスがわかるように対策がほしい
・学校に行く系統のバスに旗をつけられるとわかりやすい
・バス停を学校指定
・1人だけ乗るのではなくて、ある程度の人数で乗るのであれば互いに確認できて安心する
・バスは時間通りに来ないこともある
・バスが行っちゃったかどうかわかるようにしてほしい
・バスの乗り間違えが心配、乗り間違えした後の次の乗車の判断をどうするかについては、各家庭でルール作りが必要だと思う
・登校時には降車時に見守りの人がフォローしてくれるとうれしい
・登校時のバスに教員も乗車しているときは声かけしてくれると助かる。ただ勤務前でもあるため、教員の働き方もあるかもしれない。
・バスに乗るなら子どもの荷物量を減らすことが大切
・バス代はどうなるか
・支払時に残額が不足していた時の対応はどうなるのか
・バスを増便してほしい
・バス停に屋根があるといい

【場面 3】その他全体的な観点

意見
・通学に関しては現在もこれからもいろいろなパターンを想定して家庭のルールを作っておくといいと思う
・鎌倉街道やイチョウ通り、消防署前通りは朝は高校生も通学時間。自転車が坂道などですごく早く下ってくることもある。運転マナーなどを高校でも指導してほしい。特にこれからは子ども達が多く歩くことになるからその周知も必要だと思う
・家の鍵をなくしたなどがあつたときには学校に戻るということを選択する子どももいると思うので、そのときに学校に戻るのかなどもルール作りが必要
・歩きかバスかをその日単位で変更することができるのか
・登校していない児童がいたときの安全確認方法をどうするか
・タブレットを持たせることはできないか（アプリを入れて位置を確認したり、バスの情報を確認したりできないか）
・人の多いところを歩いてほしいので、人が多いところを歩くようにという道の指定を子どもとしておいたほうがいい。
・事前に決めておいた道を通って登下校するようにしておいたほうがいい

(5) 子どもたちの通学の負担軽減に向けて

新しい通学区域になることで生じる子どもたちの通学にかかる負担の軽減に向けて、本検討会において出された意見を解消するため関係各所と十分な調整を行い、通学の負担軽減が必要な子どもたちが安心して路線バスを利用して通学できるようにしていただきたい。

また、現在「町田市学校の統合に伴う学区外通学と費用負担等検討委員会」で検討を行っている「学区外通学制度」の見直しなど、公共交通機関等を利用した通学以外の負担軽減策も実現していただきたい。

7 子どもたちへの配慮（児童の事前交流など）について

本町田地区においては、2025 年度に本町田東小学校と本町田小学校が統合となり、2028 年度には町田第三小学校が統合となります。

また、校舎についても、2025～2027 年度は本町田小学校の校舎を使用し、2028 年度からは本町田東小学校の場所の新設校舎を使用することになり、引っ越しも伴います。

本検討会では、他市における学校統合時に児童同士が合流する際の配慮事項なども参考にしながら、保護者や地域の視点から心配なことなどについて検討しましたので、報告します。

(1) 検討会における意見内容

- ・事前交流時には、同じ場所にいるだけでなく、お互いに話すきっかけもつくってほしい。
- ・「あの子の顔を知っている」から「あの子の名前が分かる」というように交流を通じて親しくなってほしい。
- ・本町田地域は統合する3校の子どもたちが集まる地域のイベントもあるので、事前にいろいろ交流できたりするといいなと思っている。また、保護者組織同士で合同のイベントがあれば、地域としても協力できたらいいと思う。
- ・保護者組織同士での合同のイベントがあれば、地域としても協力できるものがあると思う。
- ・3校の統合が、特別支援学級の児童を含めて、お互いの理解が深まるきっかけになるといいなと思う。
- ・本町田小学校と本町田東小学校では事前交流は実施しているところ。さらにそのあとの町田第三小学校との交流も考えていきたい。

■参考：教育委員会が実施を想定している児童同士が合流する際の配慮事項

No.	項目	内容	備考
1	児童同士の事前交流	合同授業、合同行事などの事前顔合わせにより統合時の不安を軽減できるよう配慮	通常授業や学校行事のスケジュールなどを学校同士ですり合わせながら内容検討
2	教員の配置	統合前の教員を配置するなど継続して児童をサポートできるよう配慮	東京都教育委員会に要望
3	相談体制	相談員を配置して子どもが相談できるよう配慮	-

(2) 学校統合時における児童への配慮に向けて

学校統合時には、これまでの学校生活とは異なる人間関係、施設環境での授業開始となります。

そのため、他市における学校統合時の事例を参考にした配慮について検討・実施をしていただきたいことはもちろんのこと、上記意見内容への対応についても、検討・実施していただき、児童・保護者・地域が円滑に統合・合流できるよう配慮していただきたい。

■参考資料

- 町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領
- 本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会委員名簿
- 本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会 開催経過
- 町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（本町田地区）（概要）
- 新たな学校名（案）に関する意見募集結果（概要）
- 本町田地区 路線バス状況調査の結果
- 統合対象校の物品・イベントのまとめ

町田市新たな学校づくり基本計画検討会設置要領

(趣旨)

第 1 この要領は、町田市新たな学校づくり推進計画（以下「推進計画」という。）に基づく新たな学校づくりを推進するにあたり、新たな学校づくり基本計画（以下「基本計画」という。）を策定するために必要な事項を検討する新たな学校づくり基本計画検討会(以下「検討会」という。)の設置及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 検討会は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに設置する。

2 検討会の設置期間は、設置の日から検討結果を町田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告する日までとする。

(検討事項)

第 3 検討会は、新たな学校づくりに関する次に掲げる事項のうち必要な事項について検討し、その結果を、教育委員会に報告する。

- (1) 統合新設校の統合準備に関すること
- (2) 新たな学校づくりにおける学校の施設、設備の整備等に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、新たな学校づくりに必要な事項に関すること。

2 検討会は、前項の規定による検討を行うため必要な範囲において、広報、調査、意見の募集その他の活動を行うものとする。

(組織)

第 4 検討会の委員（以下「委員」という。）は、推進計画の期間内に新たな学校づくりに着手する学校ごとに次に掲げるものを持って充て、教育委員会が委嘱する。

- (1) 新たな学校づくり対象校の学校運営協力者の代表 各校 2 名以内
- (2) 新たな学校づくり対象校の保護者の代表 各校 3 名以内
- (3) 新たな通学区域内の地域の代表 2 名以内
- (4) 新たな学校づくり対象校の教職員の代表者 各校 2 名以内
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第 5 委員の任期は、委嘱をした日から検討会の検討結果を報告する日までとする。

(会長及び副会長)

第 6 検討会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、第 4 の（4）に規定する者の中から、各 1 名定める。
- 3 会長は、検討会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 検討会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて会長が招集する。ただし、会長が選任される前に招集する会議は、教育委員会が招集する。

2 会議は、委員の過半数の出席により開催する。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者を出席させることができる。

(守秘義務)

第 8 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(意見の聴取等)

第 9 検討会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めて意見を聴取し、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 10 検討会の庶務は、教育委員会学校教育部新たな学校づくり推進課において処理する。

(その他)

第 11 この要領に定めるもののほか、検討会に関し必要な事項は、会長が検討会に諮り、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決するところによる。

附則

この要領は、2021年12月10日から施行する。

附則

この要領は、2022年4月1日から施行する。

本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会委員・事務局名簿

1 本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会 委員名簿

選出区分	学校名・地区名・役職等	氏名（敬称略）	期間※2
統合対象校の児童 又は生徒の 保護者の代表	町田第三小学校	末吉 泰子	
	町田第三小学校	本田 羽瑠香	
	町田第三小学校	渡邊 深香	2021年12月23日～ 2022年6月9日
	町田第三小学校	渡邊 康子	2022年6月10日～
	本町田東小学校	高柳 香菜	
	本町田東小学校	永山 千絵	
	本町田東小学校	村田 弓子	
	本町田小学校	白石 正人	
	本町田小学校	花田 典子	
	本町田小学校	日高 由香	
統合対象校の 学校協力 者の代表	町田第三小学校 学校運営協議会	手塚 圭子	
	町田第三小学校 学校運営協議会	野口 敏子	
	本町田東小学校 学校運営協議会	越水 淳※1	
	本町田東小学校 学校運営協議会	中潟 恵美子	
	本町田小学校 学校運営協議会	小原 信夫	
地域代表	本町田小学校 学校運営協議会	北澤 正博	
	町田第二地区町内会・自治会連合会	越水 淳※1	
統合対象校の教員の 代表	町田第二地区町内会・自治会連合会	本城 浩子	
	町田第三小学校 校長	若月 雅裕	
	町田第三小学校 副校長	高橋 伸明	
	町田第三小学校 副校長	大波多 美穂	2022年4月1日～
	本町田東小学校 校長	望月 伸悟	
	本町田東小学校 副校長	作田 克彦	
	本町田東小学校 副校長	西山 孝治	2022年4月1日～
	本町田小学校 校長	渡辺 恒彦	2021年12月23日～ 2022年3月31日
本町田小学校 校長（副校長）※3	杉本 勉		
本町田小学校 副校長	大谷 泰平	2022年4月1日～	

※1 兼任している場合、氏名に「※」を付しています。

※2 就任期間がないものについては、2021年12月23日～2023年 月 日まで、
終期の記載がないものについては、2023年 月まで

※3 2022年4月1日～本町田小学校校長に昇任

本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会 開催経過

開催回	開催日時	会場	検討・確認内容
第1回	2021年12月23日	本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学校づくりに関する基本情報の共有 ・本町田地区の新たな学校の概要 ・検討会の検討事項及びスケジュール ・新たな学校づくりの意見募集内容
第2回	2022年 3月11日	本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策① ・通学の負担軽減① ・新たな学校の運用体制 ・新たな学校施設（施設配置）
第3回	2022年 4月15日	町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・意見募集結果の確認 ・新たな学校名（案）意見募集内容 ・育てたい子ども像①
第4回	2022年 5月13日	本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい子ども像② ・通学路の安全対策② ・通学負担の軽減② ・歴史の継承① ・新たな学校施設（施設配置）
第5回	2022年 6月10日	本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策③ ・通学の負担軽減③ ・歴史の継承② ・新たな学校の校歌・校章
第6回	2022年 7月26日	町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の負担軽減④（学区外通学） ・学校跡地等の活用（企画政策課） ・新たな学校施設（地域開放・屋外環境） ・新たな学校名（案）①
第7回	2022年 8月19日	本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の負担軽減⑤（学区外通学） ・学校統合に伴う避難施設について（防災課） ・新たな学校施設（避難施設機能） ・新たな学校名（案）②
第8回	2022年 9月16日	本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・通学の負担軽減⑥ ・通学路の安全対策④ ・新たな学校名（案）③
第9回	2022年10月21日	町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・学童保育（児童青少年課） ・特別支援学級等の設置 ・通学路の安全対策⑤ ・学校統合時の児童への配慮
第10回	2022年11月18日	本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画検討会報告書（案） ・新たな学校施設の需要調査結果 ・新たな学校施設（施設整備コンセプト） ・保護者組織や地域協働について
第11回	2022年12月23日	本町田小学校	基本計画検討会報告書（案）
第12回	2023年 1月20日	町田第三小学校	基本計画検討会報告書（最終案）

■町田市「学校づくり意見募集」調査報告書（本町田地区）（概要）

本町田地区の新たな学校づくりに向けて、保護者、市民の意識や地域の実情を把握し、丁寧な検討をするために実施した「本町田地区 学校づくり意見募集」の結果について報告いたします。

1 意見募集概要【2022年1月26日～2月16日実施】

(1) 意見募集の対象者等

対象者	対象者数	回答者数 (回答率)	意見提出件数	配付・周知方法
統合対象校の児童	1,045	540 (51.7%)	2,086	学校を通じて配布
統合対象校の児童の保護者	1,045	289 (27.7%)	1,981	学校を通じて配布
新たな通学区域に住 住している未就学児 の保護者	925	156 (16.9%)	713	郵送
統合対象校の教員	84	53 (63.1%)	413	学校を通じて配布
新たな通学区域内 の町内会・自治会	30	7 (23.3%)	41	町内会・自治会 (代表者へ郵送)
上記以外の市民	—	6	33	ホームページ・広報紙

(2) 意見募集の設問等

対象	設問	回答内容の活用項目
保護者・ 地域・ 教員	①学校施設の良いところ・改善してほしいところ	施設整備内容
	②本町田地区の地域や学校の特色	学校名、歴史の継承
	③育てたい子ども像	教育目標
	④新しい学校に期待するもの	施設整備内容
	⑤新しい学校に引き継ぎたいもの	歴史の継承
児童	①学校のすきなところ	学校名、歴史の継承
	②学校の中(教室や体育館、廊下など)にあったらうれしいもの	施設整備内容
	③学校の校庭(建物の外)にあったらうれしいもの	施設整備内容

2 調査結果（要旨）

(1) 保護者・地域・教員

①学校施設の良いところ・改善してほしいところ

【主なキーワード】

学校名	良いところ	改善してほしいところ
町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> 自然（竹林、学校農園） 立地（高台、静かな環境） 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭が狭い 体育施設（老朽化、体育館まで遠いなど）
本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> 校庭（広い、日当たりが良いなど） 校舎（教室数、トイレがきれい、校舎の広さ等） 	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設（プールの位置、体育館の位置など） 施設配置（教室間の距離など）
本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> 自然（きぼうの森、たけのこなど、芝生） 校舎（2階のベランダ、図書室など） 	<ul style="list-style-type: none"> 校庭（狭い、芝生の養生など） 校舎（教室が狭い・少ないなど）

②本町田地区の地域や学校の特徴

主なキーワード	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊か（日向山公園、薬師池公園、恩田川など） ・ 施設（ひなた村、菅原神社、きぼうの森、消防署など） ・ その他（静かな住環境、団地など）

③育てたい子ども像

主なキーワード	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で考える子、自分で動く子 ・ 思いやりのある子、優しい子 ・ のびのび、元気な子、明るい子 ・ 地域を大切にできる子、楽しく過ごせる子

④新しい学校に期待するもの

主なキーワード	
学校設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎（教室などの広さ、最新機器、バリアフリーなど） ・ 校舎外（体育館空調、温水（室内）プール、校庭などの広さ、駐車場） ・ その他（安全性、快適性、利便性など）
学校教育・学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個性を伸ばせる教育環境 ・ 自然を活かした教育 ・ 登校することが楽しくなる学校
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に開かれた学校（学校施設の地域開放、地域との交流） ・ 通学関連（安全対策、スクールバスなどの負担軽減策）

⑤新しい学校に引き継ぎたいもの

学校名	主なキーワード
町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然（竹林、学校農園など） ・ 教育面（農園活動など） ・ イベント（盆踊り会など）
本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設面（広い校庭や校舎など） ・ 教育面（東っこ、学校の先生など） ・ イベント（東祭りなど）
本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然（きぼうの森、芝生の校庭など） ・ イベント（本小まつりなど） ・ 教育面（本小タイム、学校の先生など）

(2) 児童

①学校のすきなところ

学校名	主なキーワード
町田第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然（竹林、学校農園など） ・ 給食 ・ 校風（みんな仲良し、ともだち、学校の先生など）
本町田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設（広い校庭・校舎など） ・ 自然・動物（桜、ウコッケイなど） ・ 校風（みんな仲良し、ともだち、学校の先生など）
本町田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然（きぼうの森、芝生の校庭など） ・ 校風（みんな仲良し、ともだち、学校の先生など）

②学校の中(教室や体育館、廊下など)にあつたらうれしいもの

主なキーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収納（大きいロッカーなど） ・ 物品（動かしやすい机や椅子、電子黒板、など） ・ 共用（エスカレーターやエレベーター、廊下の読書スペースなど） ・ 体育施設（室内プールやトランポリンなど）

③学校の校庭（建物の外）にあつたらうれしいもの

主なキーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具（大きな滑り台、トランポリン、シーソー、ブランコなど） ・ 体育施設（バスケットゴール、テニスコートなど） ・ 校庭（芝生、ベンチなど） ・ 自然・動物（きぼうの森、ウサギやヤギなど）

【い】	【さ】	【す】	【ひ】	【ふ】	本町田合同	本町田南だい三	【ま】	【み】
一色	オ子の自然	スーパみらくる	東	ふくろういぬ	ほんまちださくら	本町田第4	まいだのしいわくわく	みずしおしまう
【え】	咲喬	菅原の杜	東三学校	ふじだいさん	本町田さくら	本町田ひがし二	町山	緑
えがお	さくら	スマイル	ひがししょうがこう	藤の台	本町田さくらくま	ほんまちだひかしやま	町田	みどり
笑顔	桜ヶ丘	【せ】	東田三	藤の台第二	ほんまちださん	本町田東良好等	町田おんだがわ	緑の丘ひかり
笑顔自然	さくらだいいち	清流	東の丘	藤の台西	本町田三	本町田ひかり	町田北（東）	緑のひかり
笑顔のみなもと	さくらの丘	【た】	東本町田第三	【ほ】	本町田三希	本町田光	町田きぼうが丘	緑村
えのきのまく	桜町	第三	日がしほん町田町田	星野川	本町田三東	本町田翡翠	町田元気	南薬師池
【お】	桜町田	第い五	東町第	ほまちだひらたむら	本町田しぜん	本町田日向	町田元気子	【む】
丘山	櫻町田	第五	東薬師	ほんさん東	本町田自然	本町田日向自然	町田サルビア	村山
お花	桜村	第51	ひだまり	本田	ほんまちだしょ	本町田日向ノ丘	町田3大緑	【も】
おひさま	さくら山	第3本町田	ひなた	本大	本町田新東	本町田ひなたの風	まち田しりつ	森
親子	桜山	第三本町田	日なた	本町田	本町田しんりん	ほんまちだひなた村	町田新	森山
恩田	三花	だいなな	日向	本東三	本町田せせらぎ	ほんまちだひなたむら	町田菅原	【や】
恩田川	さんしよく	太陽	日向丘	ほんひがしだいさん	本町田セントラル	本町だひなた村	町田だい三	薬師
【か】	三田東	第よん	日向恩薬	本東第三	本町田創造	本町田ひなたむら	町田第三夢	薬師池希望
かがやき	三東本町田	たけのこ	ひなたヶ丘	本本町	ほんまちだだい	本町田ひなた村	町田第三統一	薬師池未来
かがやく	サン町田	竹ノ子	日向川	本町田2つば	本町田だい一	本町田ひなたやま	まちだだいさんひがし	山
かしがく	三町田東	竹藪	日向桜	本町	ほんまちだだいさん	本町田ひなた山	町田第三東	山川
かしかめ	【し】	田んぼ	ひなた桜	ほんまちだ	町田第三	本町田日なた山	町田だい三ひなた	【ゆ】
がたい	四季の杜	【ち】	ひなた台	まちだだいさん	本町田第三	本町田日向山	町田第三本町田	ゆたか
かっこい	自然	地球	日向台	りゆま	本町田第三東	本町田日村	町田大7	ゆめ
かわいいほんまちだ	自然いっばい本町田日向山	中央	ひなただいさくら	本町だ	ほんまちだだいち	本町田藤の台	まちだだいよん	永好
カワセミ	自然大	【つ】	ひなただい三	本町田	本町田大中小	本町田町田	町田第六	【よ】
かわせみ	しぜんニコニコ	つるきみ	日向中央	本町田東	ほんまちだだいほち	ほんまちだみどり	町田中央	四町田東
翡翠	自然ひなた	【と】	ひなた仲良し	ほんまちだ	本町田第三東	本町田 緑	町田にじの森	【ら】
【き】	自然山	陶化	ひなたの	本町田自然大	本町田太陽	本町田みどり	まちだにしいろさくら	らくらく
絆の森	自然を守る豊かな	東京町田市	ひなたの丘	本町田ひなた	本町田第四	本町田緑	町田の丘	楽楽
希望	土葉	東京みなみ	日向の山新緑	本町田10	本町田たけのこ	本町田緑三	まちだの森	【その他】
生朶	しょう年	【な】	日なた東	本町田青空	本町田中央	本町田みどり野	町田の森ひなたの丘	花ら（読み不明）
きぼうの丘	女子まみれ	なかよし	日向東	本町田いせき	本町田東西	本町田緑の丘	まちだひがし	ka
希望の丘	新・本町田	仲良し	ひなた本町	本町田第二	本町田豊緑	本町田緑山	町だ東	
きぼうの日向	新聖町田	七くに山	日なた本町田	本町田第東	本町田なかよし	本町田みらい	町田東	
きぼうのもり	しん東	ななくみ山	ひなたむら	本町田いろいろ	本町田仲よし	本町田村	町田東第三	
きぼうの森	新東	名なくみ山	ひなた村	本町田丘	本町田二	本町田森	町田東ひなた	
希望の森	しんひなたむら	【は】	みんななよし	本町田音楽	本町田にじ	本町田薬師	町田光り	
きらきら	新本町田	はいぼーうとらさんだー	日なた村	ほん町田おんだがわ	本町田虹	本町田薬師池	町田ひなた	
きらり	新本町田第7	はむすたー	日向村	本町田恩田川	ほんまちだにほん	ほんまちだやくしいけこうえん	町田ひなた台	
【こ】	新本町田第8	原	ひなた森	本町田思田川	本町田の森	本町田薬師ヶ丘	ごほん	
琥珀	新本町田第三東		日向薬師	本町田ヶ丘	本町田春桜	本町田山	町田緑	
	新町田		ひなたやま	本町田川山	ほんまちだひがし	本町田りょう	町田未来第三	
			ひなた山	本町田木曾	本町田ひがし	本町田緑地	町田森	
			ひなた山	本町田きぼう	本町田東だい三	本町田若葉	町田薬師	
			日なた山	本町田希望	本町田東三	本町田緑玲瓏	まちら	
			日向山	本町田きぼうの日向	本町田ひがし三		まほろ	
			陽樹山	本町田きぼうの森	本町田東自然			
			日町三	本町田きら	本町田東第五			
			ひまわり	本町田銀がま	ほんまちだひがしだいさん			
				本町田元氣村山	本町田東第三			

■回答件数上位 10 位

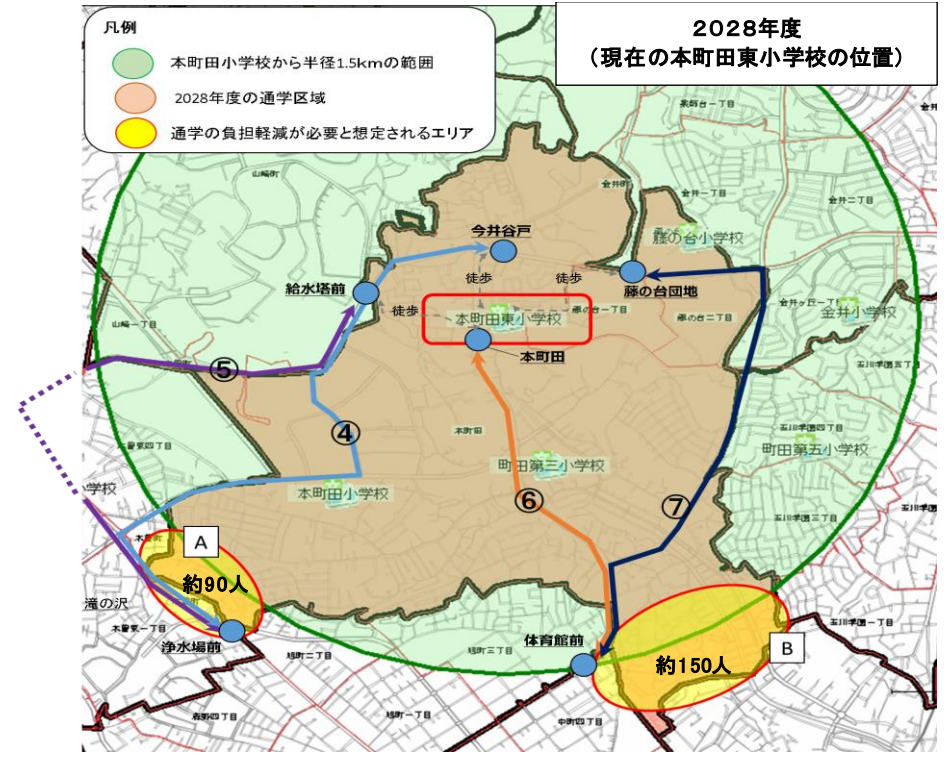
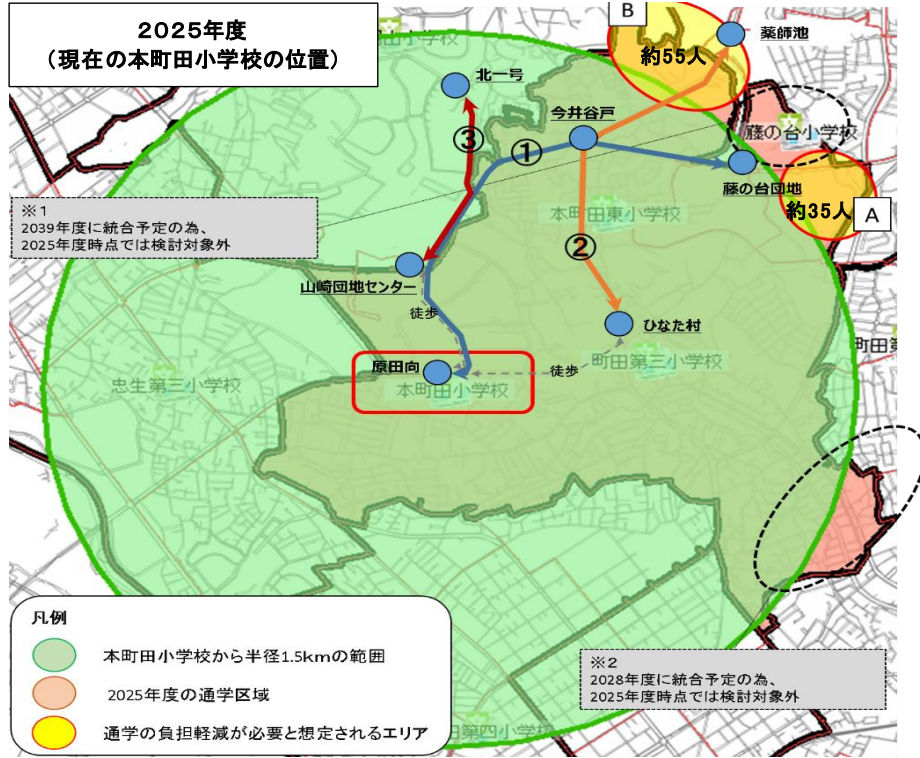
No.	読み仮名	合計	うち 児童
1	ひなたやま	65	22
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなた	54	20
4	ほんまちだひがしだいさん	47	47
5	ほんまちだひなた	34	14
6	ひなたむら	33	29
7	ほんまちだ しぜん	20	18
8	ほんまちだだいさん	16	14
8	ほんまちだひなたやま	16	8
10	ほんまちだひがし	14	12

■回答件数児童上位 10 位

No.	読み仮名	合計	うち 児童
1	ほんまちだひがしだいさん	47	47
2	ほんまちだ	56	33
3	ひなたむら	33	29
4	ひなたやま	65	22
5	ひなた	54	20
6	ほんまちだ しぜん	20	18
7	ほんまちだひなた	34	14
7	ほんまちだだいさん	16	14
9	ほんまちだひがし	14	12
10	まちだだいさん	12	9

■本町田地区 路線バス状況調査の結果

資料 5-2



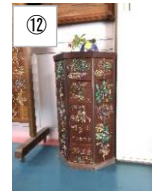
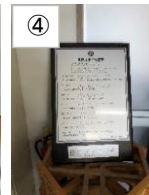
地区	時点	学校の位置	利用想定区間		①通学時間		②路線バス運行量		③乗換	④路線バスの利用状況			⑤バス待ち環境				
			番号	エリア	路線	【往路/復路】(分)		運行間隔※1 (分)		1便あたりの乗車率(%) ※2			学校近くの停留所				
						バス利用	徒歩のみ	往路		復路	往路	平均	最大	往路	復路		
本町田	2025年度	現在の 本町田 小学校	①	A	藤の台団地⇨原田向	18/16	《エリアA》 30/32 《エリアB》 32/32	20	40	なし	32.9	23.8	31.0	(17時台)	歩道有	歩道有	
				B	今井谷戸⇨原田向	16/17											
			②	A	薬師池⇨ひなた村	26/27		7~10	12~17		なし	40.1	25.2	31.4	(18時台)	歩道有	歩道有
				B	今井谷戸⇨ひなた村	25/23											
	2028年度	現在の 本町田 東小 学校	④	A	浄水場前⇨今井谷戸	26/25	《エリアA》 37/39 《エリアB》 33/34	15~31	35~45	なし	21.9	18.9	28.5	(13時台)	歩道有	歩道有	
				浄水場前⇨給水塔前	27/30	10											7~15
				⑥	B			体育館前⇨本町田	22/17		12	15~20	なし	18.4	21.9	26.6	
⑦	体育館前⇨藤の台団地	30/26	7~8		15	なし	7.8	20.5	30.1	(13時台)							歩道有

※1 運行間隔は2022.7月現在のダイヤ、往路：学校に8：10までに到着できる7時台の運行間隔、復路：13時~19時台の運行間隔を掲載。

※2 1便あたりの乗車率は、往路：学校に8：10までに到着できる7時台の時間帯平均乗車率、復路：13時~19時台の全時間帯平均乗車率と乗車率が最大となる時間帯の平均乗車率を掲載。

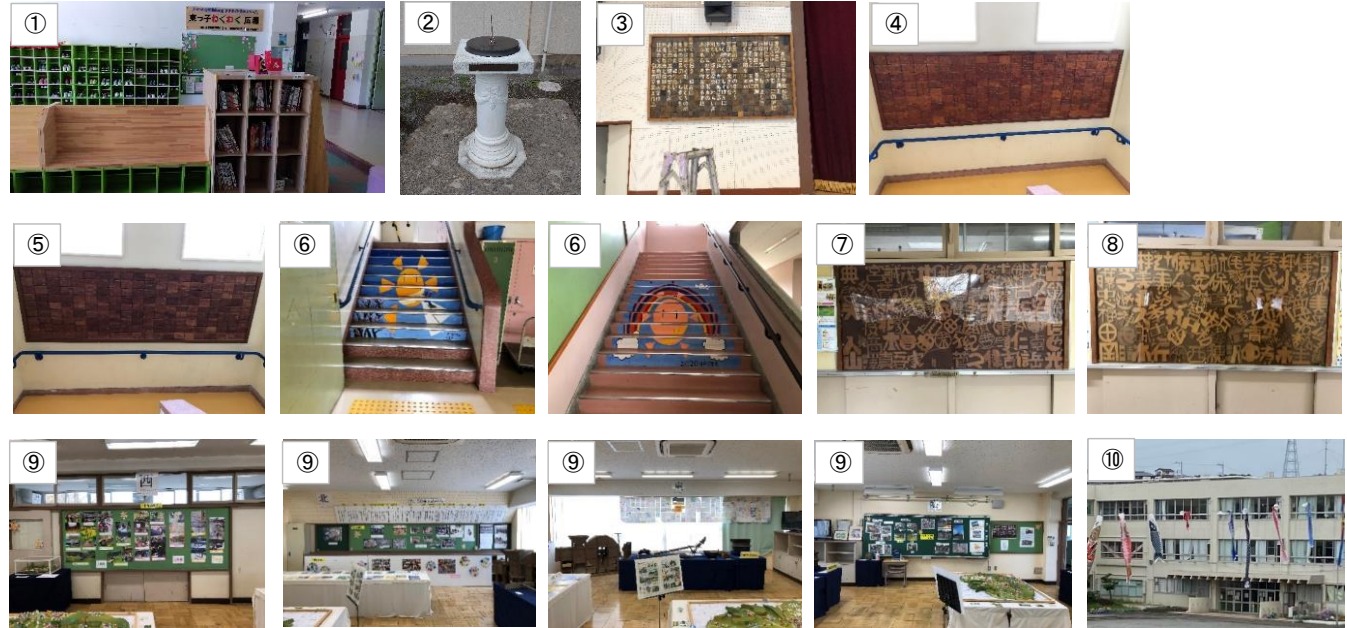
町田第三小学校の物品・イベントまとめ

		項目
1	寄贈	① 25回卒業生寄贈石碑
		② 絵画
		③ 土器・唐箕
		④ 町田市子ども憲章
		⑤ 百周年記念碑
		⑥ 揮毫
2	卒業制作	⑦ 1982年度卒業制作
		⑧ 第38回卒業生卒業制作
		⑨ 第39回卒業生卒業制作
		⑩ 1997年度卒業制作
		⑪ 1998年度卒業制作
		⑫ 1999年度卒業制作
		⑬ 2002年度卒業制作
3	植栽	⑭ もみじの木
		⑮ 梅の木 (3本)
4	その他	⑯ 学校の歴代航空写真
		⑰ 版画×6枚
		⑱ 石柱×2本
		⑲ トロフィー、賞状等
		⑳ 日時計
		㉑ 版画×2枚
		㉒ レリーフ
		㉓ レリーフ×2枚
		5
稲作活動		
縦割り活動		
読み聞かせ活動		
給食 校風		
6	地域活動	いなほ会
		盆踊り大会
		名人芸大会
7	教育・地域活動	地域に密着した活動



本町田東小学校の物品・イベントのまとめ

		項目
1	寄贈	① 東っこわくわく広場 ② 日時計
2	卒業制作	③ 1976年度卒業制作 ④ 1979年度卒業制作 ⑤ 1981年度卒業制作 ⑥ 2020年度卒業製作
3	その他	⑦ レリーフ 木製 ⑧ レリーフ 木製 ⑨ 模型、写真等 ⑩ 季節行事関連の品
4	教育活動	東祭り 縦割り活動 給食 校風
5	教育・地域活動	地域交流



本町田小学校の物品・イベントのまとめ

		項目
1	その他	① ふるさと館（郷土資料） ② 統合前3校の資料 ③ 和太鼓
2	教育活動	本小まつり 本小体操 本小タイム 給食 サマースクールの体験学習 体験学習
3	教育・地域活動	地域交流

